

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 26 日(日)10 時 00 分～ 12 時 15 分		
開催場所	都川まちづくりセンター	参加人数	12 人
出席議員	永見利久、肥後孝俊、佐々木豊治	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 広浜バスの運行停止による交通アクセスの問題。 ・ 市のバスの運行スケジュールが午前中のみで、午後の診療がある場合に不便。 ・ のりあいタクシーの利用増加。 ・ デマンドタクシー335 が医療アクセス手段として使用されているが、利用が月 1 回と限られており不便。 ・ 病院へのアクセスや買い物の際に公共交通が不便であることから、あいのりタクシーの活用を検討。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 地域の河川清掃活動や環境問題意識の向上に関する活動。 ・ 高齢化率の上昇と人口減少による環境保全活動の持続可能性への危惧。 ・ 環境保全・美化活動への補助制度財源としてのふるさと寄附金の活用。 ・ 地域の景観保持を目的とした草刈り作業の業者への業務委託に関する提案。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 地域産業の課題、特に交通インフラに関連した問題。 ・ 地元産業の振興や地域の活用計画に関する議論。 ・ 公共交通や医療アクセスの改善に向けた取り組みの必要性。 ・ 市内中心部への公共投資が偏っているように見受けられるが、周辺部にも目を向けて必要な改善を実施していただきたい。		

自由意見	【総務文教委員会】 ・公共交通アクセスの改善 地域の公共交通の利便性を高めるために、バスやタクシーの運行時間と頻度の見直し。 ・バススケジュールの改善要求 診療所の診療時間と市バスのスケジュールが合わず、午後の医療アクセスが困難です。 ・のりあいタクシーの利用 一部の住民は乗り合いタクシーを利用して医療センターや買い物に行っており、このサービスの拡充を望んでいます。 ・デマンドタクシーの利用制限改善 デマンドタクシー335は存在しますが、利用が月に1回と制限されており、また時間帯が限られているため不便を感じています。 ・携帯電話用の電波不感地域の改善について 携帯会社へアンテナを建設の要望を出しているが、未だ建設に至らず。家庭用アンテナを借りて設置するが、電波を拾えない。市内全域で光ケーブル(CATV)を敷設する計画だが、携帯電波の不感地域解消も併せて考慮していただきたい。事故、急病の際に、迅速に関係機関へ連絡できる地域であることも住みやすい地域へつながると考える。 ・旭社会復帰促進センターの契約期間満了後の情報について PFI方式での契約が満了となる時期が近づいているが、今後どのようなになるのか情報が、同じ旭町内であるにもかかわらず都川地区には何も伝わってこない。
	【福祉環境委員会】 ・環境保全活動 毎年6月に河川清掃を実施しており、今後も継続を希望。ただし、参加者が減少しているため、より多くの参加を促す措置が必要だが、高齢化と人口減少により大変難しい ・草刈りの助成 草刈り活動のための助成を6月からでなく5月から開始して

	欲しいとの要望がある。 ・ 高齢化対策 地域の高齢化率が 70%に達しているため、高齢者向けの支援策を強化する必要がある。また子どもがいる家庭があることで、地区によっては高齢化率が 70%を切ることで助成額が減少するといった問題があり、高齢化率割合算定基準について地域の実情を反映したものでないことに不満がある。 ・ ふるさと納税の活用 地域を守る景観保全財源としてふるさと納税を活用し、地域の景観保持や活動資金に充てる提案。具体的には、草刈り等を外部委託し費用をまちづくり委員会へ充当といった手法を取れないものか。
	【産業建設委員会】 ・ 交通インフラの改善 地域の主要な道路（県道・市道・林道）の幅が狭く、車の通行や離合が困難な場所があるため、道路の拡幅や改修を要望。 ・ 地域産業の振興 地元の特産品を活かした産業振興策や、新たなビジネスの誘致を求める声があります。働く場所の確保で若者が住める地域に。 ・ 公共交通の利便性向上 地域内の公共交通が辛いところに手が届いていない、不十分であるため、多様な交通手段確保や運行時間の延長を要望しています。例えばバス路線の場合に、停留所から自宅までの区間をどのように移動するのか、移動手段の新たな仕組みができるのかが、重要。

令和 6 年 5 月 28 日 報告者 肥後 孝俊